

肉用牛農家の皆様へ

17年5月28日より中国産稲わらが輸入停止となりました

我が国で平成12年に発生した口蹄疫の事を思い出してください！



口蹄疫が侵入すると九州の畜産経営は破壊されます



国産稲わらを確保



肉用牛に給与

中国産稲わら輸入停止により、九州全体の畜産経営に必要な飼料用稲わらが約9万トンも不足しています。

どうすれば確保できるか？

九州地域で生産される稲わらの約57%が鋤き込み・焼却されそのまま水田に還元されています。

○ 九州管内における稲わらの用途別生産量(平成16年産) (単位:トン)

総生産量	飼料用	敷料用	加工用	堆肥用	焼却	鋤き込み等
1,037,613	325,654	57,366	9,887	55,544	78,421	510,741
(100.0%)	(31.4%)	(5.5%)	(1.0%)	(5.4%)	(7.6%)	(49.2%)

この利用可能な稲わらを飼料用に利用できる！

国産稲わらの確保が今後の畜産経営を左右します

— 稲わら収集のための有利な事業があります —

◎国産稲わらの利用促進に関する事業

強い農業づくり交付金のうち耕種作物活用型飼料増産対策	<ul style="list-style-type: none"> ・ 耕畜連携による稲わら利用促進等を行うための調整及び地域システムの確立（推進事業） ・ 稲わらの収集に係る機械・施設整備（整備事業） <p>◎ 補助率 施設：1/2 機械：1/3</p>
飼料増産受託システム確立対策事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 農協等の飼料生産受託組織が、稲わら収穫作業等の受託活動を実施する場合、請負面積に応じて助成（定額） <p>◎ 稲わら収穫作業 初年度 21千円/ha 2・3年度 16千円/ha</p>
国産粗飼料増産対策事業のうち飼料用国産稲わら確保対策型	<ul style="list-style-type: none"> ・ 耕種経営と畜産経営が連携し、稲わらを収集、供給するのに必要な経費を助成 <p>◎ 5千円/10a（平成18年度開始分）</p>



ロールバール等の機械により効率的に収集し、良質たい肥を還元。収集した稲わらはストックヤードに保管。

これらの事業を活用して地域において耕種農家・畜産農家との連携で国産稲わら・良質たい肥を利用した高品質で安心・安全な農畜産物生産を確立しましょう！



稲わら・飼料イネ

良質たい肥



畜産農家のみなさま！今こそ国産稲わらの完全自給をめざしましょう！

これらの具体的な内容については、市町村役場、農協等にお問い合わせ下さい。

福岡県農政部畜産課
佐賀県生産振興部畜産課
長崎県農林部畜産課
熊本県農政部畜産振興課
大分県農林水産部畜産振興課
宮崎県農政水産部畜産課
鹿児島県農政部畜産課
九州農政局生産経営流通部

〒812-8577 福岡市博多区東公園7-7 TEL 092-651-1111(代)
〒840-8570 佐賀市城内1-1-59 TEL 0952-24-2111(代)
〒850-8570 長崎市江戸町2-13 TEL 095-824-1111(代)
〒862-8570 熊本市水前寺6-18-1 TEL 096-383-1111(代)
〒870-8501 大分市大手町3-1-1 TEL 097-536-1111(代)
〒880-8501 宮崎市橋通東2-10-1 TEL 0985-24-1111(代)
〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10-1 TEL 099-286-2111(代)
〒860-8527 熊本市二の丸1-2 TEL 096-353-3561(代)

九州地域飼料増産行動会議（事務局：九州農政局生産経営流通部畜産課）
九州農政局 生産経営流通部 畜産課、農産課、園芸特産課、経営課、食品課、構造改善課、消費安全部安全管理課